

昭和55年度

小形除雪機

(バケット式30PS)



建設省北陸地方建設局

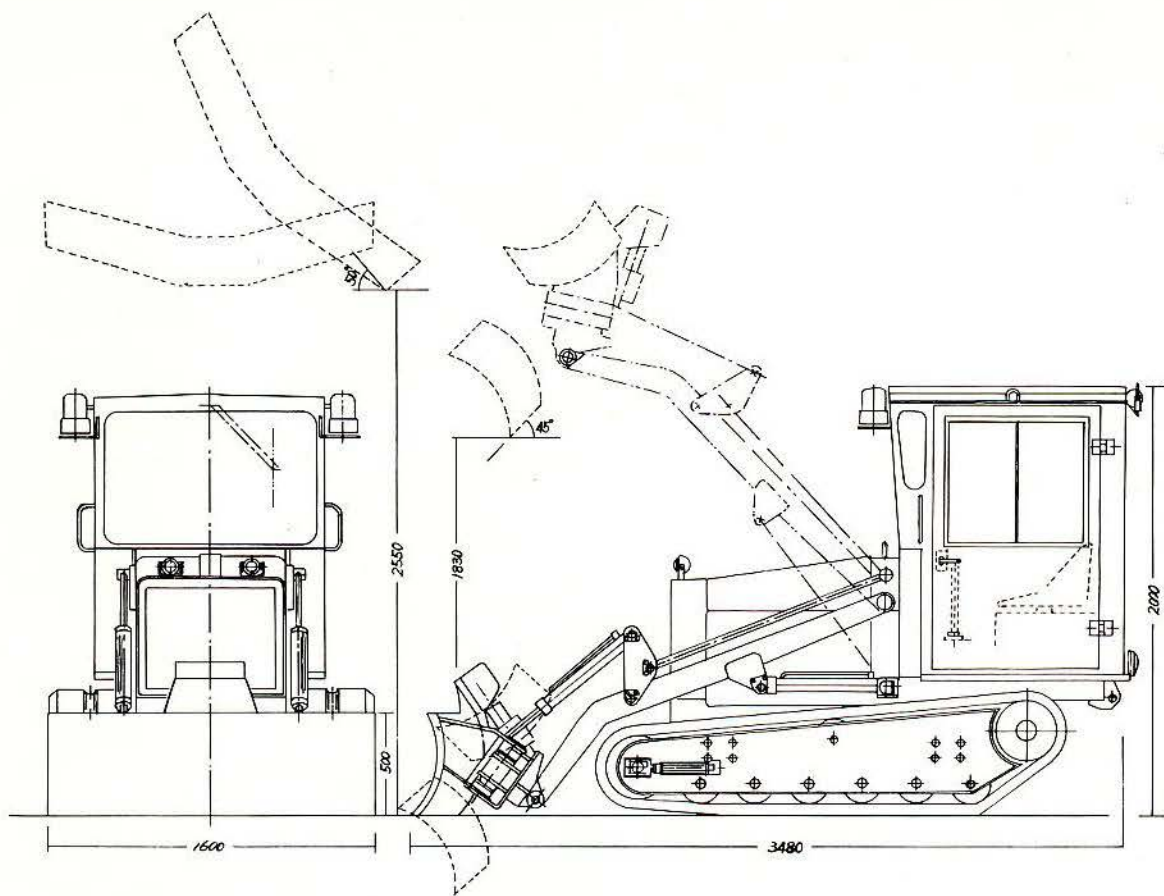
《開発の目的》

建設省において歩道除雪は昭和52年度より試験的に行われている。機械除雪は、歩道構造や沿道条件、降積雪量等によって除雪能力を十分発揮することができないことがある。現在ロータリ式のハンドガイド形が一般に多く使われているが、多積雪地や、投雪困難な地域では除雪が困難である。これらの地域での作業の能力向上を図る目的でブレード形のバケットを有した搭乗形除雪機を開発したものである。

《機械の特徴》

本機は小形トラクタショベルをベースにブレード形バケットを架装したもので、次の特徴を有している。

1. 全油圧走行で、前進、後進、方向変換、変速が1本のレバーで操作できるので取扱が容易である。
2. ゴム履帯のため路面を損傷する事がない。
3. バケット装置は押雪作業に適したブレード式でフロントダンプ、及び1本のヒンデピンを入替える事により左右任意にサイドダンプができる。
4. 搭乗形でキャビン付であるためハンドガイド式に比べオペレータの作業環境がよい。
5. 小型特殊免許で運転できる。



サイドダンプによる歩道除雪

《諸 元 表》

1. 形 式	バケット式	30PS
2. 主 要 諸 元		
全 長	(バケット地上)	3,480mm
全 幅	(バケット幅)	1,600mm
全 高	(バケット地上)	2,000mm
車 両 重 量		2,000kg
ダンプクリアランス	(45度前傾)	1,830mm
サイドダンプ角度		左右50度
サイドダンプクリアランス		2,550mm
履 帯 中 心 距 離		1,170mm
履 帯 幅		400mm
接 地 圧		0.19kg / cm ²
機 関 出 力		27PS / 2,400 r. p. m
運 転 室		鋼製密閉形
乗 車 定 員		1名
3. 性 能		
除 雪 幅		1,600mm
除 雪 高		500mm
バケット容量		0.25m ³
バケット上昇時間(全負荷)		3.0sec
バケット下降時間		3.0 "
走 行 速 度(前進、後進共)		0 ~ 6.6km/h
最大けん引力		1,800kg
登 坂 能 力(tan θ)		0.57
最小回転半径(バケット最外側部)		2,150mm